

平成21年度 県の建設工事に伴う事故発生状況一覧表 (平成22年3月末現在) (NO:1)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
1 土 (1)	H21.04.14 20:30 交通事故	道路	仮設電力用の引込柱が強風雨等により傾き引込線が垂れ下がり、通行した乗用車に引掛り車の上部ボディと後部ガラスが損傷した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・引込柱の設置場所が不適切 ・降雨が多いと予想される時の養生対策が不完全	・掘削影響箇所以外への引込柱の設置 ・天候に対応した養生対策の徹底
2 農 (1)	H21.04.21 15:15 その他	農道	畝外練り作業を行っていた際、畝外の入っていた袋とともに攪拌機に巻き付き、左手親指を切断した。 男 60歳(左第1指切断) 全治2ヶ月	・危険箇所認識不足 ・作業ヤードが狭かった	・危険箇所予知教育の徹底 ・作業ヤードの確保
3 土 (2)	H21.04.21 19:00 その他	河川	重力式擁壁を設置するため掘削していたら水道管が確認され、施工業者の判断で対応を実施したところ、管の保護が不十分のため水道管が破損した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・地下埋設物管理者との協議を怠り施工業者の判断で対応を実施	・地下埋設物管理者との協議の徹底および関係法令に従った施工の実施
4 都 (1)	H21.05.13 14:30 建設機械	街路	バックホで床掘掘削作業中に水道管を損傷させた。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・元請から下請への指示連絡体制の不備 ・安全対策意識の欠如	・元請から下請への指示連絡体制の強化 ・安全教育の徹底
5 都 (2)	不明 不明 交通事故	街路	横断側溝を施工後約15cmの段差が発生し、約2mで擦り付けを行い開放していた時期に乗用車で現場を通過した際に下部を擦った。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・建設工事公衆災害防止要綱の認知不足 ・危険箇所認識不足	・建設工事公衆災害防止要綱の認知徹底 ・危険箇所予知教育の徹底
6 土 (3)	H21.05.20 9:00 建設機械	道路	重機による作業中、共同アンテナケーブル用の吊線(ワイヤ)に引っ掛け、アンテナケーブルを破断した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・架空線安全対策未実施 ・変更に対応した対策の遅れ	・架空線保護対策の実施及び安全教育強化 ・変更安全対策の徹底
7 農 (2)	H21.05.21 13:30 その他	農地	完成検査前の点検のため、マンホール蓋を開けて基準高を測定していたら、小学校の下校が始まり、現場を通行していた小学生がマンホールに足を踏み入れ負傷した。 男 10歳(右下腿切創) 全治10日間 <b>公衆災害</b>	・安全意識の欠如 ・安全対策が不完全	・安全教育の徹底 ・安全対策の徹底
8 林 (1)	H21.06.25 14:50 その他	治山	土留工(コ)の床掘中に、掘削面より上部の斜面から落石があり、バックホウのオペレーターの左腕に衝突した。 男 44歳(左橈骨骨幹部骨折、左前腕挫傷) 約6週間の加療	・安全意識の欠如 ・安全対策が不完全	・安全教育の徹底 ・安全対策の徹底

平成21年度 県の建設工事に伴う事故発生状況一覧表 (平成22年3月末現在) (NO:2)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
9 土 (4)	H21. 07. 09 20:00 交通事故	道路	一般車両が当該工事現場を走行しようとした際、対向車線に停車車両があり、対向車が車線をはみだし向かってきたため、対向車を避けるため、市道取付部を走行したところ、市道取付部に段差があり、左後輪アルミホイールの損傷をした。(物損事故) <b>公衆災害</b>	・危険予知認識不足 ・段差箇所の見認性が悪かった	・危険予知教育の実施 ・看板、夜間点滅灯の設置
10 都 (3)	H21. 07. 11 9:40 その他	建築	壁のコア抜き作業のため、コアの刃を回転している状態で取付けを行ったところ、左手にはめていた軍手がコアの刃に引っかかり、回転に巻き込まれて左手小指を負傷した。 男 46歳(左小指PIP関節脱臼、左小指挫創) 3週間の加療	・慣れによる危険軽視	・安全教育の徹底
11 土 (5)	H21. 07. 13 11:00 建設機械	道路	坑内で作業員が人力で掘削した土を集め、バックホウで排土するため坑内にバケットを入れたところ、アームがH鋼に接触し、H鋼が所定の位置から外れ、坑内にいた作業員に当たり負傷した。 男41歳(右上腕・右腰部打撲挫傷)1週間の加療 男39歳(右足打撲挫傷、右大腿擦過創)1週間の加療	・坑内に作業員がいる状態で、バックホウによる作業を行った	・安全教育の徹底
12 土 (6)	H21. 07. 13 14:00 その他	道路	交通整理員をつけて作業員が路肩の草刈りをしていたところ、草刈機の刃先が交通整理員に接触し腹部を負傷した。 男 25歳(左下腹部切創) 2週間の自宅療養	・施工体制の不備 ・安全教育が徹底されていなかった	・適切な作業員の配置 ・安全教育の徹底
13 土 (7)	H21. 07. 23 11:10 建設機械	道路	ダンプトラックを坂路で停車させ、別作業をしていたら、ダンプトラックが車止めを乗り越え、坂路を下りだしてブロック積に乗り上げ、横転した。(物損事故) 工事関係車輛	・坂路に停車し無人のダンプトラックへ積込作業を行った ・安全意識の欠如	・平坦地での作業を徹底 ・安全教育の徹底
14 土 (8)	H21. 07. 27 8:00 その他	砂防	型枠材料を片付けようとして、4t吊りユニック車から飛び降りた際に滑り、右腰部を打ちつけた。 男 31歳(骨盤・右大腿打撲、腎打撲) 2週間の加療	・慌てて作業を行った ・着地地点の状況を容易と判断した	・2人以上で同一作業の実施 ・安全教育の徹底
15 都 (4)	H21. 08. 03 8:35 その他	建築	地下オイルタンク撤去のため、土留め支保工の杭(H鋼)打ち込み作業中に、電話配線、光回線ケーブルを引っ掛け、不通となった。(物損事故) <b>公衆災害</b>	・安全対策意識の欠如	・安全教育の徹底
16 土 (9)	H21. 08. 04 13:45 立木処理	道路	準備工の伐採作業において、立木を伐採し、チェーンにて枝打ちの作業を実施中、枝打ちにより木のバランスが崩れ、幹本体が作業員の方へずれてきてその際チェーンが作業員の左大腿部内側に接触し負傷した。 男 61歳(左下肢広汎性切挫減創、左大腿直筋・内側広筋・外側広筋切断) 3ヶ月の加療	・チェーン取扱に係る特別教育を受講させていなかった ・安全意識の欠如	・チェーン取扱に係る特別教育の受講の徹底 ・安全教育の徹底

平成21年度 県の建設工事に伴う事故発生状況一覧表 (平成22年3月末現在) (NO:3)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
17 土 (10)	H21.08.07 11:45 建設機械	砂防	ダンプトラックが現場内へバックで進入したところ、積込作業を行うスペースに駐車してあった乗用車に接触し、破損させた。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・現場内への立入禁止が徹底されていなかった ・誘導員の不注意	・現場内の立入防止対策の徹底 ・誘導現場全体を見渡せる位置への誘導員の配備
18 林 (2)	H21.08.20 14:30 その他	治山	法面でのSD削孔機械(自立式ボーリング機械)撤去作業中に、SD削孔機械が転倒し、作業員の額を裂傷した。 男 53歳(頭部挫傷、中心性脊椎損傷) 1週間以上の加療	・機械移動斜面の凹凸が大きかった ・大丈夫だろうという安易な判断	・危険予知教育の徹底 ・作業手順の確認徹底
19 土 (11)	H21.08.22 16:40 立木処理	道路	伐倒時に、立木が若干傾いて伸びていたため、倒木方向が予定と異なり、隣接木に接触し切口が跳ね、作業員の背中にあたり被災した。 男 65歳(両側外傷性血気胸、両側肺挫傷、左肺破裂、左大量血胸、左フレイルチェスト、出血性ショック) 全治1ヶ月以上	・チェーン取扱に係る特別教育を受講させていなかった ・伐木作業の作業手順が明確でなかった	・チェーン取扱に係る特別教育の受講の徹底 ・伐木作業の作業手順書を作成し作業員に周知・徹底させる
20 都 (5)	H21.08.24 11:00 その他	建築	屋上に仮置きしてあった防音パネル材2枚が風で飛ばされ、校舎反対側に落下して駐車場に止めていた車に当たり損傷した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・安全対策意識の欠如	・安全教育の徹底
21 土 (12)	H21.08.25 8:30 交通事故	道路	歩車道境界ブロック付近の草刈り作業中、飛び石により通行車両の後部座席窓ガラスを破損させた。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・コの字型防護板を使用していなかった ・防護板の設置スペース確保が困難	・コの字型防護板の使用徹底 ・必要に応じて片側交通規制、手刈作業を併用
22 土 (13)	H21.08.28 13:10 その他	道路	排水工施工に伴い、床掘削中に農水管を破損した。 (物損事故) <b>公衆災害</b>	・埋設管位置の現況確認が不十分 ・埋設位置が不明な状態で重機掘削を採用した	・埋設管理者立会いの元、試掘を行う ・人力掘削の併用
23 土 (14)	H21.09.02 15:50 その他	道路	起工測量実施後、現地再確認のため移動中、道路右側路肩部の道路側溝に足を踏み外し体勢を崩した際に右手を法面につき、右手首を負傷した。 男 34歳(右橈骨遠位端骨折) 1ヶ月間の加療	・危険予知認識不足 ・安全意識の欠如	・危険予知教育の実施 ・安全教育の徹底
24 農 (3)	H21.09.08 11:30 転落	農地	排水機場(木造平屋建て)解体作業中に、片足の底が抜けバランスを崩し、3m下の地面に背面から落下。 男 60歳(頸椎骨折、頸髄損傷)	・作業班の編成が不適切で安全帯の着脱が多くなり、使用を怠るようになった。 ・踏み抜き防止対策の未実施	・安全帯を着けた状態で作業が実施できる班編成。 ・軒先部分に踏板の設置を行う。

平成21年度 県の建設工事に伴う事故発生状況一覧表 (平成22年3月末現在) (NO:4)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
25 土 (15) その他	H21.09.11 8:50	道路	既設斜ブロックをコンクリートブレイカーで取り壊し中、コンクリートブレイカーが滑って弾み、右足にあたり負傷した。 男 30歳 (右第3趾挫創、右第3趾伸筋腱断裂) 4週間の加療	・作業手順を決めていなかった。 ・滑る可能性の高い斜ブロックを取り壊そうとしたため。	・作業手順書を作成し周知、徹底させる。 ・基礎部を取り壊して取外しを行う。
26 土 (16) 建設機械	H21.09.16 8:40	道路	ダンプトラック運転手が、荷下ろし後、荷台を上げたまま発進したため、荷台が電線に引っかかり、たるみが生じたとともに電線取付用の金属製支柱および電柱が破損した。 (物損事故) 公衆災害	・荷台をあげた状態で発進したこと。 ・現場状況を周知させていなかった。	・荷台をあげたまま発進しない事を徹底させる。 ・搬出先を事前に把握させ、安全管理の徹底を図る。
27 土 (17) その他	H21.10.08 11:30	道路	チェーンで倒木を剪定中、剪定した枝が跳ね上がりチェーンを押し返し作業員にガイトバが接触し負傷した。 男 53歳 (左膝挫減創) 2週間の通院・加療	・切断時の裂けや跳ね返りに対応した安全管理体制が図られていなかった。 ・作業員の安全意識の欠如	・安全管理体制の徹底を図る。 ・安全教育の徹底
28 都 (6) 交通事故	H21.10.11 14:30	街路	工事現場に隣接する書店の駐車場に入ろうとした乗用車が、市道沿いに設置したバリアード横の歩行者誘導矢印を駐車場入口と間違え、進入した結果、歩道端部と駐車場との段差(45cm)により車両底部を損傷した。(物損事故) 公衆災害	・注意喚起のバリアード及びカーコンが簡単に移動できた。 ・歩行者誘導矢印と駐車場入口を間違えた。	・固定式の柵とロープで注意喚起を実施。 ・わかりやすい看板設置を徹底。
29 土 (18) 交通事故	H21.10.12 20:00	河川	県道を走行していた乗用車が、交通規制予告用の単管バリアードに衝突し、車両前部が一部破損した。 (物損事故) 公衆災害	・危険予知認識不足 ・安全意識の欠如	・危険予知教育の実施 ・安全教育の徹底
30 土 (19) 建設機械	H21.10.14 14:00	砂防	進入路上に埋設されている給水管の位置を確認せず、想定して敷鉄板を布設していたため、実際は進入路上の異なる位置に管が通っており、生コン車が進入路を走行した際に、給水管がソケット部で外れ、漏水が起きた。(物損事故) 公衆災害	・埋設管の位置を安易に想定していた。 ・敷鉄板の布設が不完全であった。	・管の位置を正確に把握するよう徹底する。 ・敷鉄板を隙間なく布設を行い、十分な保護対策を行う。
31 都 (7) その他	H21.10.15 14:15	建築	動力盤の設置作業のため、盤を移動中に下に敷いた移動用コロパイプの位置を修正しようとした時に、パイプとゆかの間に右手人差し指を挟み負傷した。 男 49歳 (右示指挫減創)	・監督体制が不十分であった。 ・標準作業要領に基づいた作業が行われていなかった。	・現場代理人の現場常駐の徹底を図る。 ・標準作業要領に基づいた作業の徹底を図る。
32 農 (4) 建設機械	H21.10.19 15:20	農地	停車したダンプトラックの荷台に作業員(被災者)が乗り、碎石を搬出作業していたところ、別の作業員がダンプトラック後部アオリを押し上げた際に、アオリが前方へ倒れ左足が挟まれ負傷した。 男 24歳 (左1趾基節骨骨折、左1趾伸筋腱損傷) 8週間の加療	・ダンプトラックの荷台に乗り作業をしていた。 ・安全意識の欠如	・ダンプトラックの荷台を上げて碎石を降ろし、荷台に乗った状態での作業を行わない。 ・安全教育の徹底

平成21年度 県の建設工事に伴う事故発生状況一覧表 (平成22年3月末現在) (NO:5)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
33 土 (20)	H21. 10. 30 9:30 その他	砂防	研修期間中の作業員が大ハンマー（鉄製）を両手で持ち、鉄ピン打ち作業を行っていたところ、大ハンマーの角が鉄ピンに当たり、大ハンマーが欠け、その破片（鉄の破片）が跳び、左手中指を裂傷した。 男 19歳（左手背挫創）10日程度の加療	・負傷した左手に軍手を装着していなかった。 ・研修期間中の作業員による単独作業であった。	・両手に軍手等の保護具の着用を徹底させる。 ・常にベテラン作業員とペアを組んで作業にあたるよう徹底する。
34 土 (21)	H21. 11. 09 21:55 交通事故	道路	一般車両が通行中、道路上に設置していた交通規制予告看板に接触した。 (物損事故) 公衆災害	・交通規制予告看板を車道上に設置していた。	・工事看板類は交通に支障とならないように設置を徹底する。
35 農 (5)	H21. 11. 10 15:00 建設機械	農地	バックホウのアームにホッパーを吊り下げた状態で、コンクリート打設のためにアームを旋回させたところ、中電引込線に引っかけて架線が垂れ下がった。 (物損事故) 公衆災害	・安全管理が不十分であった。 ・見張作業員を配置していなかった。	・注意喚起看板を設置し安全管理を徹底する。 ・見張作業員の配置の徹底。
36 土 (22)	H21. 11. 21 11:20 建設機械	道路	交通誘導員がバックホウのキャタピラ部分に足を踏まれ転倒し、大腿部付近まで下敷きになった。 男 50歳（骨盤骨折、右第2中足骨骨折、尿道断裂・左腎損傷疑、網膜症）	・バックホウの移動・旋回範囲内に立入禁止措置が不備。 ・バックホウに専任の誘導員が配置していなかった。	・バックホウの移動・旋回範囲内の立入禁止措置の徹底。 ・専任の誘導員配置を徹底。
37 農 (6)	H21. 11. 23 14:00 建設機械	農地	クレーンを用いて、仮設土留工に使用する鋼矢板を荷降ろししていた時、吊り荷が電線側に振れ、クレーンのフックに電線が挟まり、電線を切断し、停電を起こした。 (物損事故) 公衆災害	・玉掛け作業に不備があり、かつ、地切りが確実でなかった ・ワイヤーの長さが必要以上に長かった	・吊りワイヤーの垂直を確認し地切りを確実に行う ・ワイヤーの長さは必要最小限とする
38 土 (23)	H21. 11. 27 10:15 その他	砂防	作業員がクレーンから一時降車する際に、ステップを踏み外し落下して、アウトリガーに背中を打ちつけた。 男 61歳（第一腰椎圧迫骨折）全治約1ヶ月	・クレーンを正面に戻さずに降車したため、昇降ステップを使用できなかった。 ・安全対策意識の欠如	・クレーンから降車する際、運転席を正面にし、昇降用ステップを使用するように徹底する。 ・安全教育の徹底
39 都 (8)	H21. 12. 17 9:50 転落	建築	体育館2階出入口上部にある既設建物と仮設足場の隙間に養生シートを設置中、足場として使用していた道板から転落して負傷した。 男 61歳（第1腰椎圧迫骨折、左鎖骨骨折）約8週間の安静加療	・仮設足場の安全対策が不十分 ・KY活動に基づいた作業が未実施	・仮設足場に関する安全対策の強化 ・KY活動に基づいた作業の実施を徹底
40 農 (7)	H21. 12. 22 11:00 建設機械	農地	既設水路を取壊し、その下部を掘削中にバックホウのアームが宅内引込線にかかり、電線を破断し停電を起こした。 (物損事故) 公衆災害	・合図者が現場を離れたにもかかわらず作業を継続した。 ・安全対策認識欠如	・合図者が不在となる際はバックホウ作業を中断する。 ・安全教育の徹底

平成21年度 県の建設工事に伴う事故発生状況一覧表 (平成22年3月末現在) (NO:6)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
41 農 (8)	H21.12.23 11:00 建設機械	農地	工事実施中に掘削地山が崩れそうになるのを作業員が気づき、声を張り上げたことで、バックホウのオペレーターが慌てて急作動させたため、アームが宅内引込線にかかり、電線の留め金具が外れた。 (物損事故) 公衆災害	・安全対策認識欠如 ・危険予知教育の不足	・安全教育の徹底 ・危険予知教育の徹底
42 土 (24)	H22.01.14 14:30 立木処理	河川	準備工として護岸上部法面にある立木を川方向へ倒すように伐倒したが、想定外の家屋方向に倒れ、民家と接触し一部破損した。 (物損事故) 公衆災害	・チェーン取扱に係る特別教育を受講させていなかった ・伐木作業の作業手順が明確でなかった	・チェーン取扱に係る特別教育の受講の徹底 ・伐木作業の作業手順書を作成し作業員に周知・徹底させる
43 土 (25)	H22.01.18 14:00 その他	道路	既設側溝嵩上げ工の掘削土が側溝の中に落ちないようにベニアを設置していたところ、側溝内にたまった土を除去していた作業員が不用意にベニアに触れ、ベニアを持った作業員がバランスを崩し側溝の中に落下した。男 67歳(左足関節・左手関節挫傷) 1週間の療養	・不安定な姿勢での作業。 ・近接作業を実施していた。	・作業手順の見直し。 ・近接作業を行わないよう徹底する。
44 都 (9)	H22.01.19 14:50 建設機械	建築	躯体(RC造)解体時、バックホウ圧破機使用中に、コンクリート塊が養生シートを飛び越えて落下し、駐車場の車(2台)に当たり破損した。 (物損事故) 公衆災害	・養生シートの高さが不十分。 ・安全対策意識の欠如	・養生シートを一段高く嵩上げする。 ・安全教育の徹底
45 土 (26)	H22.01.23 11:00 建設機械	砂防	水替ポンプに使用している発電機に燃料を補給する際に、近くにバックホウがあり、そのアームが支障となったことから、アームを旋回させたところ、NTT電柱の支線及びCATV支線に接触し切断した。 (物損事故) 公衆災害	・架線の防護カバーが設置されていなかった。 ・安全対策意識の欠如	・防護カバーの設置を徹底する。 ・安全教育の徹底
46 土 (27)	H22.01.26 8:30 その他	河川	1m程度の単管を手渡しにて荷上げ作業中に、手が滑り約4mの高さから均しコンクリート上へ落下し、跳ね返って下方で鉄筋作業を行って作業員に当たり負傷した。 男 33歳(左膝打撲、挫創) 約1週間の加療	・作業優先による急な作業手順の変更。 ・坑内での上下作業を行った。	・作業手順を厳守した施工の徹底。 ・上下作業の禁止を徹底する。
47 土 (28)	H22.02.08 9:00 建設機械	河川	クレーン付きトラックから一番上の鉄板を降ろすため、鉄板を吊り上げた際、二枚目の鉄板の側部を押し出す形となり、二枚目の鉄板が荷台から落下し、露出していた水道添架設備の空気弁を破損し漏水が発生した。(物損事故) 公衆災害	・鉄板の重心移動に合わせたクレーンのブーム操作の未実施 ・安全対策認識欠如	・鉄板の重心移動に合わせたブーム操作の徹底 ・安全教育の徹底
48 都 (10)	H22.02.08 不明 その他	建築	PCB含有と思われたトランス(変圧器)を搬送する際、油が一部漏出した。 (物損事故) 公衆災害	・PCB含有機器の確認・管理不足。 ・安全対策認識欠如	・PCB含有機器の確認・管理の徹底 ・安全教育の徹底

平成21年度 県の建設工事に伴う事故発生状況一覧表 (平成22年3月末現在) (NO:7)

NO	発生日時	工事種別	事故概要	事故の原因等	防止対策
49 土 (29)	H22.02.12 10:50 交通事故	道路	舗装工事に向けて現道内で測量作業中の作業員が、測量用反射鏡を持ち中央分離帯側の車線付近にいたところ、乗用車が車線を離脱突入して来て、はねられた。 男 52歳 死亡	・測量作業時の手順書を作成していなかった。 ・安全対策が不十分であった。	・測量時の作業手順書を作成し、周知徹底する。 ・安全対策の徹底。
50 土 (30)	H22.02.18 12:00 建設機械	河川	重機により河床掘削を行い、掘削土を集め、その集めた土の上へ重機を移動させ、掘削及び土の移動作業を順次行っていたところ、重機の設置位置が高くなり、上空を通っている電話線にアームが接触して電話線を切断した。(物損事故) <b>公衆災害</b>	・架空線防護対策の未実施 ・安全対策意識の欠如	・架空線防護対策の徹底 ・安全教育の徹底
51 土 (31)	H22.02.22 19:50 交通事故	道路	床掘・基礎工施工完了後、埋め戻しを行わず、敷鉄板を十分な固定もしないで設置して交通解放したところ、一般車両が通行している間に隙間ができ、通行中の車両2台が続けて脱輪し車両を損傷させた。(物損事故) <b>公衆災害</b>	・現場の交通解放時における公衆災害防止対策に不備があった。 ・危険予知教育の不足	・「建設工事公衆災害防止対策要綱」に基づいた施工の遵守 ・危険予知教育の徹底
52 都 (11)	H22.02.27 10:15 その他	街路	作業員が管理写真を撮るため、手で支えていた飛散防護柵を離している間に重機の油圧ブレーカーが飛散防護柵を押し、倒れかかった飛散防護柵に車道通行中の一般車両が接触し車両側面を損傷した。(物損事故) <b>公衆災害</b>	・狭小スペースでの作業。 ・安全対策意識の欠如	・十分な作業空間の確保。 ・安全教育の徹底
53 土 (32)	H22.03.11 10:30 建設機械	道路	国道における道路案内標識基礎工設置のため、既設歩道内で0.25m3のバックホウを使用して床掘作業を行っていたところ、国土交通省の占有物件である情報ボックス保護管をバケットの爪で破損させた。(物損事故) <b>公衆災害</b>	・埋設物の事前確認が不十分 ・共通仕様書に記載の「情報ボックスの事故防止のための手順」に基づく対応の未実施	・埋設物における事前確認の徹底 ・共通仕様書に記載事項の対応を徹底する
54 土 (33)	H22.03.16 18:55 交通事故	道路	仮設の矢印看板が折からの強風で飛ばされ、通行車両と衝突した。(物損事故) <b>公衆災害</b>	・矢印板の飛散防止対策が不十分であった ・安全対策意識の欠如	・矢印板に重りを設置し飛散防止対策の徹底を図る ・安全教育の徹底
55 土 (34)	H22.03.16 19:45 交通事故	道路	工事案内看板を工事現場付近のガードレールに固定して添加していたが、強風により看板が外れ、通行車両に接触した。(物損事故) <b>公衆災害</b>	・看板の固定が不十分であった ・安全対策意識の欠如	・番線を用いた構造物への十分な固定、重りや土のうによる飛散防止対策を徹底する ・安全教育の徹底
56 林 (3)	H22.03.31 11:30 その他	治山	土留工の床掘土砂を索道で搬出していた際に、作業員が床掘箇所の下方で搬出土砂をモッコから降ろす作業に従事していたところ、落石に当たり負傷した。 男 36歳 (左第10肋骨亀裂骨折、左大腿打撲) 2週間安静加療	・安全対策意識の欠如 ・監視員が不在の状態で作業が行われていた。	・安全教育の徹底 ・必要に応じ監視員を配置して作業を行う。